

平成26年度子ども議会(中学生の部) 発言順の質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問事項	回答要旨	担当課	再質問	再質問の回答
1	1	深谷中学校	深谷市の農業について	<ul style="list-style-type: none"> ・工業、商業、農業と重要な産業が揃う深谷市ですが、中でも農業は全国有数です。 ・そんな中、今年の大雪によりビニールハウスが多数倒壊し、何もない土地も多く見受けられます。 ・深谷市をNo. 1の農業都市にするために、大雪被害への対策や農業振興に対しどんな税金の使い方がありますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2月の大雪で農作業に使われる施設が甚大な被害を受けました。 ・市では、廃ビニール、折れた鉄パイプ等の受入れを行っています。 ・また、被害を受けた施設の再建のために国や県の協力を得て税金で支援します。 ・さらに、復興プロジェクト“がんばんべ～深谷”と称して、「ふっカーゴ」を活用し、PRキャンペーンを実施していきます。 	産業振興部長	大雪被害以前の農作物の生産量と、現在の生産量に大きな変化はありますか。	<p>【産業振興部長】</p> <p>深谷はハウス栽培の農家が多く、被害は8割にのぼり相当な被害を受けました。再建には2～3年かかると思われ、生産量はかなり減ると思われます。再建までの間、露地野菜の栽培も行われているので、市でも支援、PRしていち早く復興できるよう取り組んでおります。</p>
2	3	幡羅中学校	深谷駅の活性化について	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピックの開催が決定し、大きな盛り上がりを見せている中で、東京駅がリニューアルされ観光名所としても有名です。 ・そこで、「ミニ東京駅」とも呼ばれる深谷駅に、東京駅と同様に駅内や駅周辺に店を置くなどし、活性化を図ってはどうでしょうか。 ・例えば、産業祭や七夕まつりを深谷のビックイベントとして発展させたり、駅構内にふっかちゃんグッズや特産物を販売する店を置いたり、カフェなどがあれば集客につながります。 ・駅に人が集まれば、市全体の活性化にもなると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・深谷駅の市が管理している部分は、市民サービスセンターなどがあり、新たな店舗を作る場所がない状況です。 ・市でも様々なイベントや環境整備を積極的に行っていますが、基本的にお客様を呼び込む施設は、民間の方に作って欲しいと考えています。 ・最近では、スポーツクラブなど駅周辺に出店もあり、レンタサイクル事業などの新しい動きもあって少しずつ賑わいが出ているので、市も引き続き頑張っていきます。 	都市整備部長	東京オリンピックが開催されることで、深谷にも多くの人を訪れると思いますが、そこで市が行える取り組みなどはありますか。	<p>【都市整備部長】</p> <p>オリンピックの際には海外からも東京を中心に多くの人を訪れると思います。渋沢栄一の顕彰や街中でのイベントなど、少しでも深谷に人を呼べるよう検討していきたいと考えています。</p>
3	5	明戸中学校	英語教育の充実について	<ul style="list-style-type: none"> ・国際化が叫ばれている中、英語教育に先進的なこの深谷市が、外国語に特化したまちになればいいと考えています。 ・生まれてから3、4歳までが一番聴力が発達する時期といわれているので、早くから外国語に関わっていれば、異文化のものではなく、日常の一部となるのではないかと思います。 ・現在、小学校からの英語教育が基本ですが、幼稚園から英語教育を始めてはいかでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市では、小学校3年生から外国語活動を開始しています(通常5年生から)。 ・さらに、小3から中3の子ども達が少なくとも週1回はALTの授業を受けられるように、人的支援をしています。 ・幼児期から外国人との触れ合いを体験することは重要ですので、幼稚園や小学校1、2年生にも、ALTとの触れ合いの機会を設けています。 ・幼児は、日本人としての素養を身に付ける大切な時期でもあるため、幼稚園におけるバランスのとれた教育活動を進める中で、現在の英語教育を更に充実させてまいります。 	教育部長	幼稚園の開催回数を増やすことができますか？	<p>【教育部長】</p> <p>園児の様子もみながら検討してまいります。</p>
4	7	東京成徳大学深谷中学校	富岡製糸場に関する深谷市の観光PRについて	<ul style="list-style-type: none"> ・深谷市は、富岡製糸場の設立に尽力した渋沢栄一、製糸場の初代工場長となった尾高惇忠、建設資材調達のまとめ役となった葺塚直次郎の出身地です。 ・このチャンスを一時的なもので終わらせず、恒常的に観光客を呼べる取り組みや工夫が必要になると思います。 ・そこで、現段階で取り組んでいる、または、これから取り組む予定のPR策があれば教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市では、登録勧告後すぐにポスター、のぼり、横断幕でPRを行いました。 ・道の駅おかべ情報館でも、パネルを展示しています。 ・3偉人が注目されているこの機をとらえ、周辺整備やPRを行い、誠之堂・清風亭やホフマン輪釜など渋沢栄一に関わる他の施設も併せてPRしながら、継続的に観光客が訪れるようにしていきたいと考えています。 	産業振興部長		

平成26年度子ども議会(中学生の部) 発言順の質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問事項	回答要旨	担当課	再質問	再質問の回答
5	9	花園中学校	交通機関の発展について	<ul style="list-style-type: none"> ・花園地域には、秩父鉄道の小前田駅、永田駅がありますが、深谷駅に行くには熊谷駅まで大回りしなければなりません。電車の本数も少なく、運賃も高く、接続時間も合わない現状です。 ・進路を決めるのに、交通手段も考慮することになります。 ・小前田、永田駅から深谷駅に直接つながる駅をつくるなど、鉄道を活性化させた方が良くと思います。交通手段が増えれば、便利になり、視野も広がります。 ・交通機関の発展について、意見をお聞かせください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内にはJR高崎線と秩父鉄道の計6駅があり、花園地区を運行する民間バスの路線は2路線です。 ・市では「くるりん」を運行していますが、路線が大廻りとなり本数が少ない状況です。 ・市内には交通空白地帯も多く、さらに人口減少に伴い公共交通の利用者も減少していくため、公共交通の維持確保が全国的な問題となっています。 ・新鉄道路線は多額の費用が掛かり、市の負担は困難です。 ・市では交通空白地帯を減らし、今ある公共交通が廃止・減便とならないよう毎年運行会社に要望しています。 ・くるりんは来年度から新運行を開始し、運行本数が倍増しバス停数も増やすことから、利用しやすい交通機関の発展に繋がるものと考えています。 	都市整備部長		
6	11	川本中学校	世界で活躍された方々と交流する機会について	<ul style="list-style-type: none"> ・川本中では、ソチパラリンピックに出場した村岡桃佳さんの入賞を祝う会を実施し、大変有意義な時間を過ごしました。村岡さんの話を聞き、大きな夢に挑戦する気持ちになった人は多くいました。 ・そこで、様々な分野で活躍された深谷市の方々の話を聞いたり、交流する企画はあるのでしょうか。あるとすればどのような企画なのか、また、今後の方向性を教えてください。 ・また、村岡さんのような世界で活躍する方を、市でもっと表彰すると良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市では、「深谷市親善大使」を委嘱しました。 ・親善大使の阿部敏弘さんや高桑早生さんも小学校で講演会を行って、交流しています。 ・現在のところ、話を聴いたり交流したりするような企画はありませんが、イベントを行うこととなった際には、皆さんにお知らせしていきたいと思っています。 ・また、スポーツの分野では「スポーツ栄誉賞」を授与しています。 ・富田議員も是非スポーツ栄誉賞を授与されるよう頑張ってください。 	秘書室長		
7	13	岡部中学校	岡部地区の暴風と砂嵐とその対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・私は、岡部中で野球部に所属していますが、暴風で練習や試合を中断せざるを得ないときが度々あります。 ・生徒の中には、下校の際砂嵐で信号も見えず、自転車を押して帰る人もいます。 ・暴風と砂嵐の影響で、部活動の時間が減ったり、一般道が危険になっています。 ・防砂林などの対策が考えられますが、市では対策を考えていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市では平成19年に砂ぼこり対策のための協議会を設立しました。 ・防風林も一つの方法ですが、農作物に影響の少ないものを植えて対応しています。 ・これまでに行ってきた対策 ①緑肥を秋頃にまきつけ、畑の表面を緑で覆うことで砂ぼこりを抑えています。 ②風よけのため、農家の協力を得て畑の西側に、生垣などの木を植えています。 ③農家の協力により、防風ネットを設置しています。 ④広報誌等に掲載し、農家へ協力依頼を行っています。 ・今後も農家の理解と住民の協力を得ながら、対策を考え、実施してまいります。 	産業振興部長	スプリンクラーを設置すれば、農地の砂も移動せず農家にとっても良いと思いますが、どうお考えですか。	【産業振興部長】 広大な面積に対し、スプリンクラーによる表面だけの対策では砂ぼこりは防げないことが実証されています。水源の問題や作物を作っている畑は水を撒けないという面もあるので、全体としては先ほどの答弁のような対策となります。今後も皆さんの知恵を借りながら取り組んでまいります。

平成26年度子ども議会(中学生の部) 発言順の質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問事項	回答要旨	担当課	再質問	再質問の回答
8	15	上柴中学校	ふっかちゃん の広報活動について	<ul style="list-style-type: none"> ・ふっかちゃんは、グッズやイベントなどで大人気で、去年はゆるキャラグランプリで全国4位に輝きました。 ・今後、ふっかちゃんが全国1位になるために、市ではどのような取り組みを行っていく予定ですか。 ・また、私たち中学生が取り組めることはありますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、市役所だけでなく多くの人たちとひとつとなって応援活動を行うことや、グランプリ参加をきっかけとして市のPRや市内の活性化に繋がれることを考えながら、「ふっかちゃん」への投票をお願いする方法を検討してまいります。 ・学校訪問、企業訪問、投票案内所の設置や、県外での広報活動などを考えています。 ・議員をはじめ中学生の皆さんも、投票方法が発表されたら投票の仕方を覚えて、まわりの人たちに教え、投票してもらうようお願いをしてください。 	協働推進部長		
9	17	南中学校	災害時における 市民の協力について	<ul style="list-style-type: none"> ・今年2月の大雪では、私も道路の雪かきを手伝いましたが、その際に近所の方との付き合いを深めることができました。 ・しかし、雪かきが進まない地域もあり、市役所の対応も追い付きませんでした。 ・そこで、災害時は市民全員に協力を呼び掛けてはどうでしょうか。 ・対策として①自治会を中心とした組織をつくっておくこと、②救助活動の訓練をすることが挙げられます。 ・これらにより、地域の交流も深まり、より早く安全を確保できると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市でも、自治会を中心とした「自主防災組織」の結成を促進しています。 ・毎年9月に総合防災訓練を実施しており、自主防災組織による訓練をはじめ、消防署の救出訓練や自衛隊による炊き出し訓練が行われます。 ・また、自主防災組織においても、独自に防災訓練などを実施しています。 	総務部長		
10	19	豊里中学校	伝統文化を 残していくことについて	<ul style="list-style-type: none"> ・血洗島では、毎年10月に、渋沢栄一も愛した獅子舞を行います。今は披露する機会も少なく、引き継ぐ子供も少なくなっています。 ・そこで、市でポスターやパンフレットにより宣伝し、獅子舞の鑑賞や体験ができるようにPRしたらどうでしょうか。 ・また、いろいろな場所で披露する機会が増えれば、多くの人に獅子舞の魅力が伝わります。 ・これからの世代に獅子舞を受け継いでもらうために、市全体で伝統文化を残していきませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市では、文化財として重要な獅子舞などの伝統文化について、無形文化財として指定し、活動を支援しています。 ・今年6月の「深谷の三偉人まつり」では血洗島獅子舞を披露していただき、今後もそうした機会を設けていきたいと考えています。 ・各団体の披露の日程をとりまとめ、市ホームページでお知らせしてまいります。 ・無形文化財の保存として、ビデオに撮るなど映像での保存に努めています。 	教育部長		

平成26年度子ども議会(中学生の部) 発言順の質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問事項	回答要旨	担当課	再質問	再質問の回答
11	21	藤沢中学校	深谷花フェスタ&オープンガーデンの活発化について	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢中は、毎年「ふかや花フェスタ&オープンガーデンフェスタ」に参加し、地域ボランティアと共に生徒が花を育てています。 ・このすばらしい「ふかや花フェスタ&オープンガーデンフェスタ」の認知度を上げるために、訪れる人を増やし、深谷の良さを見てもらえばよいと思います。 ・そのために、宣伝を多くする、駐車場を増やす、くるリンを活用する、レンタル自転車を手配するなどしたらいかがでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の花フェスタ等開催にあたり、雑誌6誌、新聞2紙、3つのウェブサイトへの情報掲載のほか、チラシ約18万部の新聞折込によるPRを行いました。開催期間中は、オープンガーデンを巡るためのツアーバス(「花めぐりバス」)やレンタルサイクルも利用いただきました。 ・結果、今年は2日間で77,000人の来場者がありました。 ・深谷のオープンガーデンは全国でもトップレベルであり、藤沢中学校の「ホッと一息 藤中ガーデン」も自信を持って公開していただきたいと思っています。 ・花フェスタ等の素晴らしさを伝えるPR活動、来なくなるような企画など、より良い花フェスタ等のため努力していくので、引き続きご協力をお願いします。 	協働推進部長	「花めぐりバス」に加え、見直しを検討しているくるリンをこのイベントに合わせて活用できれば、利用者も増え、さらにくるリンが活発化すると思いますがいかがですか。	【都市整備部長】 くるリンはシャトル方式とデマンド方式の2系統で運用しており、新しい計画も同様に予定しています。デマンドをうまく利用できればよいが、イベント専用にするというのは運行上難しいので、いろいろ検討していきたいと思っています。
12	2	深谷中学校	深谷市の“エコ”に対することについて	<ul style="list-style-type: none"> ・先日、市のホームページで、市内のE. T. E株式会社が環境省等主催のeco japan 2012で環境ビジネスウィメン賞を受賞したとの記事を見つけました。 ・この会社は国内だけでなく、海外にも注目されているようです。 ・市では今後、エコに対してどのようなことを行い、どのような深谷市にしたいと考えていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市はエコに対して、「エネルギーの使用量を減らす」取り組み、「太陽光など自然エネルギーを活用する」取り組み、「環境コンテストを実施し、環境について感じてもらえる」取り組みなどを行っています。 ・市では、「環境にやさしいまち、快適に暮らせるまち、そして、皆さんと一緒に環境を守っていけるまち」を目指していきますので、ご協力をお願いします。 	環境水道部長		
13	4	幡羅中学校	友好都市との交流について	<ul style="list-style-type: none"> ・深谷市では、群馬県富岡市や岩手県の田野畑村と友好都市提携を結んでいると知りました。 ・そこで、友好都市の中学生同士で交流の場を設け、意見交換や異なる文化を教え合えば、地域理解や知識向上につながると思います。 ・今後、中学生が参加できる交流イベントを行う予定はありますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、市には4つの友好都市があり、この中で、田野畑村と小学生を対象とした交流事業を行っています。 ・今のところ、中学生が参加できる交流イベントを実施する予定はございませんが、中学生の皆さんから多くのご要望があれば、今後、検討して参りたいと思います。 	こども未来部長		
14	6	明戸中学校	公共の体育館の使用料金について	<ul style="list-style-type: none"> ・私はよく勉強で明戸公民館の図書室を利用しますが、無料なので中学生の私たちには助かっています。 ・しかし、公民館の体育館を利用する際、料金がかかるようになりました。 ・なぜ公共の場所なのに料金がかかるのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設を利用する人としらない人との負担の公平性を保つために、平成23年10月より使用料を徴収しており、施設の維持管理費の一部に充てています。 ・公民館の図書室などは、だれでも利用できる場として開放しているので、使用料は設定していません。 ・公民館の体育室等を利用する際には、特定の団体が一定の時間専有して使用する場合に料金を徴収していますが、皆さんに利用しやすい金額設定としているので、ご理解をお願いします。 	教育部長		

平成26年度子ども議会(中学生の部) 発言順の質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問事項	回答要旨	担当課	再質問	再質問の回答
15	8	東京成徳大学深谷中学校	深谷市の災害対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の2月は例年になく大雪に見舞われ、小中学校も臨時休校となりました。 ・自宅の周辺でもカーポートやビニールハウスが倒壊し、野菜の出荷も思うようにできないなど、私たちの生活に大きな被害をもたらしました。 ・市では、雪や地震などの災害対策をどのように講じられているのか教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が発生した場合に、適切な対応をとるため、「深谷市地域防災計画」を作成し、県や隣接市町への応援要請、民間事業者との相互協力体制を整えて、様々な関係機関がスムーズに応急対策活動を実施することとしています。 ・また、防災行政無線をはじめ、市ホームページやツイッターなどで、皆さんに情報発信を行います。 ・今年3月には「地震・洪水ハザードマップ」を各家庭に配布しました。 ・今後は、大雪の経験を教訓として、各種初動対応マニュアルを整備・更新し、災害対策を進めてまいります。 	総務部長		
16	10	花園中学校	商店のこれからについて	<ul style="list-style-type: none"> ・市内では、閉店した個人商店を見ることがあります。大きな理由としては、大型スーパーなどの進出があると思います。 ・商店は人と人との人情溢れる買い物ができ、スーパーには豊富な品揃えやサービスがあるという利点があり、どちらも良いところがあります。 ・こうしたことについて、どのような考えをお持ちか、お聞かせください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市としては、大型スーパーと個人商店の双方の利点を生かしながら、共存共栄の関係を築いていくことが重要と考えています。 ・大型スーパー、個人商店は、それぞれ利点があり市の産業の発展のための重要な存在です。 ・今後も市内商店の発展のため深谷商工会議所やふかや市商工会などの関係団体と協力して、それぞれの利点を活かした活動を進めていきたいと考えています。 	産業振興部長		
17	12	川本中学校	自転車事故と防止対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県での自転車事故による死者数は全国ワースト2位であり、深谷市でも問題となっています。 ・川本地区では、道路幅が狭く、自動車や歩行者と接触しやすい危険な場所が多数見受けられます。 ・川本中では、事故防止のため集会を開き、呼びかけを行っています。 ・そこで、自転車事故を減らすため自転車専用道路を設置してはどうでしょうか。 ・また、自転車事故防止のため、市ではどのような対策に取り組んでいるのか、学校としてどのように取り組んでいけばよいのかを教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車専用道路は「あかね通り」のみであり、整備するためにはまとまった土地を取得することが必要となります。 ・現段階では整備の計画はありませんが、対策として、歩道内や車道の路肩に区画線などで歩行者と自転車の通行区分を分け、事故防止を図っています。 ・啓発に関しては、小・中学校で交通安全教室を開催し、自転車の乗り方やマナー、ルール指導及び交通安全キャンペーンを実施しています。 ・自転車事故防止は、一人一人がルールやマナーを守ることが重要であり、この活動が各学校に広がればありがたいと思います。市も、皆様の活動を支援してまいります。 	都市整備部長		

平成26年度子ども議会(中学生の部) 発言順の質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問事項	回答要旨	担当課	再質問	再質問の回答
18	14	岡部中学校	英語の授業のALTの先生のことについて	<ul style="list-style-type: none"> ・現在週に4回、英語の授業にALTの先生が来ており、外国の方と会話できる貴重な時間となっています。 ・しかし、ALTの先生が来ない期間があります。 ・深谷市の英語力向上のため、その期間もALTの先生に来てもらいたいのですが、検討をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市では、小学校5年生から開始する外国語活動の授業を、文部科学省の研究指定を受けることにより、小学校3年生から実施しています。 ・ALTの先生を各小・中学校に派遣したりするなどして、みなさんが英語によるコミュニケーション能力を向上できるよう、様々な取組を進めています。 ・「ALTの先生が学校にこない期間」ですが、市では、国の定めた法令に従い、一定期間ALTの先生を派遣しておりません。 ・近隣の市町でも同様であり、ALTの先生はおりませんが、英語の先生と生徒の皆さんで、コミュニケーション能力を高めるための様々な授業に取り組んで頂きたいと考えています。 	教育部長		
19	16	上柴中学校	花園IC拠点整備プロジェクト構想について	<ul style="list-style-type: none"> ・花園IC拠点整備プロジェクト構想を聞きわくわくしていますが、なぜいまアウトレットモールなのでしょうか。 ・観光客を呼び込む機会は増えますが、交通面での課題や、深谷全体の魅力を伝えられないのではないかと課題も発生するのではないのでしょうか。 ・この構想について、今後の展望と、課題をどう克服していくかお聞きしたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・このプロジェクトは、花園ICの地の利を活かし、深谷市全体を元気にしたいという思いから始まっています。 ・アウトレットモールは、旅行気分で買い物でき、市外からの観光客が市内経済を活性化してくれるとともに、雇用の場を確保することができます。 ・課題として交通渋滞が懸念されるため、道路拡幅、信号機設置などの対策を考えています。 ・深谷全体の魅力を伝えるため、観光や農業のための公共施設で、市の魅力をPRしていきます。 ・市内外の方々に満喫してもらえるようなプロジェクトにしたいので、協力をお願いします。 	産業拠点整備特命監		
20	18	南中学校	富岡製糸場の世界文化遺産登録に関する深谷市の活性化について	<ul style="list-style-type: none"> ・富岡製糸場と絹産業遺産群は、その設立に深谷出身の人が多く関り、富岡製糸場と深谷市の関係は非常に深いです。 ・田島弥平旧宅も、深谷市と近い場所に位置しています。 ・これらを活かし市を活性化させることはできないのでしょうか。 ・観光ツアーを企画し、解説員も交えて案内すれば観光客も知識を深めてくれ、観光客が増えれば市も活性化すると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 伊勢崎市の境島村地区にある田島弥平旧宅は、深谷市と隣接し、養蚕農家の原型となった建物であり貴重な文化財です。 ・田島弥平旧宅も観光客が増加しており、深谷市の旧渋沢邸「中の家」や渋沢栄一記念館への来訪者も増加しています。 ・両市で協力することで大きな効果が得られるので、市としても田島弥平旧宅を巡る観光コースなどを検討中です。 ・今後とも、田島弥平旧宅と旧渋沢邸「中の家」などの関連施設で、それぞれの紹介や案内をするなど、協力関係を築きながら両市の活性化を図っていききたいと思います。 	教育部長		

平成26年度子ども議会(中学生の部) 発言順の質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問事項	回答要旨	担当課	再質問	再質問の回答
21	20	豊里中学校	大雪被害について	<ul style="list-style-type: none"> ・2月の記録的な大雪により、市内でもたくさんの被害がありました。豊里地区は農家が多いため、ビニールハウスの倒壊や農作物の被害があり、除雪作業も行き届かない状況でした。 ・今回のような自然災害は、今後も起こる可能性があり、その際はいかに被害を軽減するかがポイントだと思います。 ・そこで、市では自然災害に向けてどのような対策をお考えですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「深谷市地域防災計画」を作成し、地震や台風・ゲリラ豪雨などの災害が発生した場合の対応方法を定め、いざという時に備えています。 ・また、ハザードマップを作成し、地震や洪水の知識、対応方法、非常時持ち出し品の用意、情報入手方法などを案内しています。 ・「八基・豊里地区災害対策促進協議会」など、地域をあげて取り組んでいる例もあります。 ・今後は、大雪の経験を教訓として、雪害初動対応マニュアルを作成するとともに、自然災害に向けた対策を進めてまいります。 	総務部長		
22	22	藤沢中学校	福祉ボランティア活動の活性化について	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢中では福祉ボランティア活動に取り組んでおり、特にお花見会や早朝散歩に力を入れています。 ・ボランティア活動をすると、多くの方がよここんでくれ、私たちの心も豊かになります。 ・このような中学生が主となって行う福祉活動を、藤沢中だけでなく深谷市全体の活動として、もっと多くの人を笑顔にできたら素晴らしいと思いますが、いかがでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢中学校区は、施設の方々とお花見会や早朝散歩など福祉活動に力を入れ、福祉の心を育む交流を進めており、頼もしく感じています。 ・市では、福祉の心を育むために、全小学校で「まごころ訪問」を実施しています。 ・社会福祉協議会とタイアップして、「福祉の心を育む交流事業」を行っており、相互交流を図っています。 ・今後も、福祉の心を育む教育活動を大切にし、各学校の福祉活動が一層充実していくよう、支援してまいります。 	教育部長		